

令和2年度大分県協働推進会議 議事録

日時：令和2年10月27日（火）14：30～16：00

場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）大会議室

出席者：池永哲二委員、岩井清一委員、衛藤めぐみ委員、小野二生委員、岡田正彦委員、
川浪佳恵委員、田島信太郎委員、伊達英寿委員、土谷晴美委員、
廣瀬舜一委員、村野淳子委員、三輪真美委員、山内弘美委員、渡邊由美子委員
公益財団法人おおいた共創基金 坂田涼事務局長
和田慎一郎社会貢献推進二課長
（事務局）
生活環境部長高橋基典、県民生活・男女共同参画課長佐藤誠一郎
県民活動支援室 室長田崎真佐恵、主幹高柳陽子、主事相澤康裕、
主事中山紗央里

1 開会

2 議題

（1）報告事項

大分県NPO法人の状況及び協働実績について、令和2年7月豪雨における災害ボランティアセンターの運営について、新型コロナウイルス感染症に伴うNPO活動への影響に関する実態調査について、報告を行った。

（主な意見）

- ・災害発生時に災害ボランティアだけでなく、今後は、ユンボなどを使える職能集団・専門職集団の方々の活動を促すことをしないと今後の災害に立ち向かっていけないのではと感じる。
- ・数字だけではなく、より質の優れた、他のモデルとなる協働が増えて行くようにできればと考える。
- ・法人数は、減少傾向にあるが、減ってしまった法人が活動していた分野や地域の困りごとについて、行政がどのような関わり方をしているのか。
- ・ネットワークをつくることは手段であるが、やはり繋がりながら取り組むことは必要。行政や企業とどう繋がるかも含め検討する必要がある。

(2) 議事

NPOと県民との協働のさらなる推進について協議するため、おおいたNPO情報バンク「おんぼ」の更新、おおいたNPO・県民フォーラム、めじろんフォーラムについて説明した。

(主な意見)

- ・行政ができないところをNPOの力を借りてやっていくのか、行政が本当にやらなければいけないところをNPOを利用することで協力関係が出てくるのか、両方あると思うが、NPOと行政や企業とがいかに同じ方向を向いて情報共有することが必要だと思う。
- ・自身のNPO法人を知ってもらうこと、法人同士が繋がることも大切だと感じているので、会議やフォーラム等に積極的に参加していきたい。
- ・NPOを支援するコーディネーターについて検討してはどうか